

かえる便り 27年度23号

平成27年11月9日

向寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

明日とは 明るい日 と書きますね。明るい日にするには、“今為すべき” ことを直ぐに実行することです。例えば、宿題をしなかったら… 練習を怠け技術・体力を高めないで試合に臨んだら… 心底喜べ、楽しく明るいですか？

その人が伸びるかどうかは、基本練習の取り組みを見れば分かります。自分のプレーを分析して対策を考える人は伸びます。伸びない人は、これぐらい 簡単に出来る と、手抜きをしています。ゲーム形式だと本気ですが、基本練習だと手抜きをする人は、伸び悩むでしょう！何故なら、最後は 自分との闘いだからです！ 手抜きは、中途半端な心の証！“感即動”を心掛けて欲しい！



教育は森作りと一緒にしたいと思います。多様な木が繁る森は豊かな恵みをもたらしてくれます。森は、手入れをしないと維持できません。教育も同じです。教科指導による“知の豊かさ”、生活指導による“心の豊かさ”を育て、人々が暮らしやすいようにするのが教育ではないでしょうか？

『降りてゆく生き方』が11月28日に江津市総合市民センターで上映されます。生き方についてのヒントを与えてくれる映画だと思います。

ロード走は、自分自身との闘いです。駅伝は自分自身とチームとしての戦いです。サッカーも同じではないでしょうか？しかし、単純に走るだけの駅伝は嫌がる人が多いけれど、サッカーの試合には出たがります。怠ける ことができるか、できないか ということが凄く関与していると思います。駅伝は 個の力 が明確に周囲に伝わり怠けることが出来ませんが、サッカーは少々の怠け心は誤魔化せられているのではないのでしょうか？

少しぐらい怠けても なかなか分からないという、悪い癖が染み付いている事に気がついていない人が多い。服にしみ込んだ“シミ”は外から見えますが、心の“シミ”は見えないから厄介です。服の“シミ”は取り除く方法がありますが、心の“シミ”は、自ら今を真剣に生きる努力をしない限り取り除けないと思います。

今為すべきことに一意専心して、豊かな人生を送りたいものです！